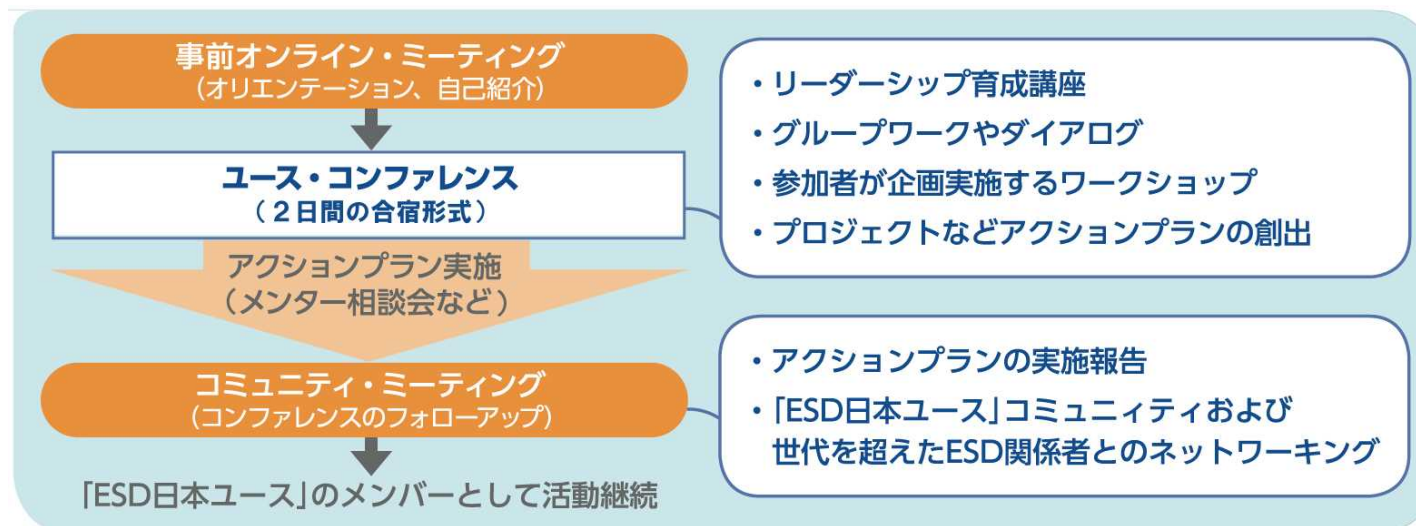


# ユネスコ活動の活性化に資する 「ESD日本ユース・コンファレンス」の取り組みについて

五井平和財団 宮崎雅美

## コンファレンス概要

- ユース世代のESD活動を推進することを目的に、日本/ユネスコパートナーシップ事業として実施。
- 2014年にESDユネスコ世界会議「ユネスコESDユース・コンファレンス」のプレ会議として第1回を開催。
- 毎年全国からESDを実践する18～35歳の若手リーダー約50名が選抜され参加。
- 2日間の合宿形式のイベントで、対話やグループワークを中心に、学び合い、具体的な取り組みや共同プロジェクトを生み出している。



# 実践コミュニティとしての「ESD日本ユース」

建議1の実現に資する点

これまでの参加者約300名が「ESD日本ユース」コミュニティのメンバーとして、全国各地、様々な業種や分野で活躍している。



## 「ESD日本ユース」としての活動

- ESD関連イベントで分科会・ワークショップ等を担当  
(ユネスコスクール全国大会、ESD推進ネットワーク全国フォーラム 等)
- ユネスコ/ESD関連の国際会議や委員会にユース代表として参画  
(ユネスコユースフォーラム、G20サミット教育関連イベント、気候変動サミットサイドイベント、ESD円卓会議 等)
- ユース主催の勉強会・情報交換会を定期的に行う (ESDユース・マルシェ)

# コンファレンスから生まれたプロジェクト

建議5の実現に資する点

コンファレンスや、その後のネットワーキングの中から「ESD日本ユース」のメンバーによる様々な連携や共同プロジェクトが生まれている。

## 地域課題の解決に資する事例

### 岡山

岡山地域から参加したメンバーたちが、岡山市役所と連携し、SDGs市民ネットワークの若者部会を設立。地域で活動する若者を幅広く巻き込み、SDGs未来都市としての街づくりに貢献する活動を継続している。



### 宮崎

地域活性化に関わる二人のメンバーが、「稼ぐ地方をプロデュースする」と称した共同プロジェクトを企画。宮崎県新富町で、6次産業化に取り組む農家の支援や、特産物の商品開発の支援を通して、地域市民のエンパワメントを行っている。



### 地域 x 国際

外国人留学生のメンバーが、全国各地のメンバーとのつながりを活かして、地方創生事業を起業。外国人留学生と各地域の市民が連携し、地域の課題解決に共に取り組む体験型学習プログラムを実施している。（建議4にも資する事例）



## 「ESD日本ユース・コンファレンス」への今後の期待

建議1、5の実現に資する点

- SDGsという視点から、社会のより幅広い分野のステークホルダーとつながること。
- 環境、経済、社会の3分野がバランス良く発展できる持続可能な社会の担い手となるユース世代による取り組みを加速させること。  
⇒そのため、例えば、グローバルな視点からの課題解決への貢献、地域が実際に抱える課題へのアプローチ等が必要。



## ユネスコ未来共創プラットフォームへの期待

建議5の実現に資する点

ユースの観点から

- 各地域におけるユースの取り組みへの支援が広がること。  
(自治体、企業、大学などが持つ各種リソースの提供等)
- 他のステークホルダーの取り組みに、ユースが参画する機会が増えること。  
(政策決定、学会、ユネスコスクール等)
- 日本と海外のユースが交流し、SDGs達成に向けた国際的な協力が進むこと。  
(国際会議、交流プログラム等)
- 多様なステークホルダーが有機的につながり合い、主な事業のみならず、大小様々なプロジェクトや連携を育むプラットフォームであること。

